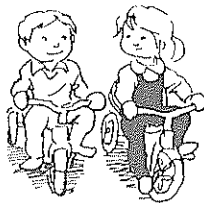


赤ちゃん言葉の子ども

南国市教育相談所 高石文一



お母さんに連れられて、かわいらしい三歳の男の子が来た。母と子が良い子に座る。

「誰と来ましたか」

「アカアチャン」と答える。

「おかあさんでしょう」

「アカアチャン」となる。

絵をかいたカードを見せて、「これは何……?」

「たまご」「タアゴ」、さかなを「チャカナ」、すずめを「スズネ」、バナナを「バナナ」と言う。

カードをふせて、何がありましかか」とたずねると、「タアゴ、チャカナ、スズネ、バナナ」と答える。

記憶力はよいようである。ただ、保育所の昼寝の時間に来たせいか、ぐにぐにやして体がきまらないう。母親にしがみついていたが、そのうちに寝入ってしまった。

「このように赤ちゃん言葉を使うのは、頭脳に故障があったり、言葉を出す舌とかのどなどに問題があるのではありません。

「もともと、このような子どもの共通性として、あいきょうがあります。かわいらしいので、まわり

の者が赤ちゃん言葉で相手をします。甘やかすのでなく、周囲の者が甘えるのです。かわいらしいから見逃す、結果として発達が遅れてくる。

保育所でも、時間中に席を立つて勝手に歩きまわる。お母さんもおはじめはきつくとがめない。天下御免で、思いつき次第のことをする。しかし、結局集団生活ですから無制限にはいかず、「だめですよ」という壁につきあたる。思うようにできないので、かんしゃくをおこす、泣く。かわいそうに苦労しているのです。

「ほんとうにそうです。時間中に歩きまわったり、大声で泣いたりして、お母さんに大変お世話をかけています。」

「お母さんとして、子どもに分かるようなことを一つ決めて、「これだけはだめ、いくら泣いてもお母さんがだめと言ったらだめ」とはつきりさせておくことが大事だと思えますよ。」

「それが大きな声で泣きますので、お隣りにもはずかしくて、つい無理をきくことになります。」

「子どもが泣くのは、決してはずかしいことではありません。それに、そう長い間ではありません。お母さんがだめと言ったらだめ」と、はっきりさせておかないと、大きくなって小学校に行く頃になると、「プラモデルがほしい」と言います。買ってやるのもよいが、次から次へと際限がなくなります。上級生になるとリモコンの自動車、中学校に進むと無線で飛ばす飛行機、高校になるとオートバイ……「買ってくれたら勉強する」と言いますが、勉強はしません。はてがありません。どこかでできなくなりません。するとあばれる。こうなれば手遅れです。自分で自分にブレーキをかけることを、幼い時にお母さんから教えてもらえなかったかわいそうな子どもです。さあ、今日はえらかったね。」

「ごほうびにこれをあげましょう」と言って風船を出すと、お母さんにふくらませてもらって喜んで帰る。

「四回目になると、「たまご、さかな」は言えるようになるが、「すずめ、バナナ」は「スズネ、バア

「子どもが泣くのは、決してはずかしいことではありません。それに、そう長い間ではありません。お母さんがだめと言ったらだめ」と、はっきりさせておかないと、大きくなって小学校に行く頃になると、「プラモデルがほしい」と言います。買ってやるのもよいが、次から次へと際限がなくなります。上級生になるとリモコンの自動車、中学校に進むと無線で飛ばす飛行機、高校になるとオートバイ……「買ってくれたら勉強する」と言いますが、勉強はしません。はてがありません。どこかでできなくなりません。するとあばれる。こうなれば手遅れです。自分で自分にブレーキをかけることを、幼い時にお母さんから教えてもらえなかったかわいそうな子どもです。さあ、今日はえらかったね。」

「ごほうびにこれをあげましょう」と言って風船を出すと、お母さんにふくらませてもらって喜んで帰る。

「四回目になると、「たまご、さかな」は言えるようになるが、「すずめ、バナナ」は「スズネ、バア

「子どもが泣くのは、決してはずかしいことではありません。それに、そう長い間ではありません。お母さんがだめと言ったらだめ」と、はっきりさせておかないと、大きくなって小学校に行く頃になると、「プラモデルがほしい」と言います。買ってやるのもよいが、次から次へと際限がなくなります。上級生になるとリモコンの自動車、中学校に進むと無線で飛ばす飛行機、高校になるとオートバイ……「買ってくれたら勉強する」と言いますが、勉強はしません。はてがありません。どこかでできなくなりません。するとあばれる。こうなれば手遅れです。自分で自分にブレーキをかけることを、幼い時にお母さんから教えてもらえなかったかわいそうな子どもです。さあ、今日はえらかったね。」

「ごほうびにこれをあげましょう」と言って風船を出すと、お母さんにふくらませてもらって喜んで帰る。

「四回目になると、「たまご、さかな」は言えるようになるが、「すずめ、バナナ」は「スズネ、バア

「子どもが泣くのは、決してはずかしいことではありません。それに、そう長い間ではありません。お母さんがだめと言ったらだめ」と、はっきりさせておかないと、大きくなって小学校に行く頃になると、「プラモデルがほしい」と言います。買ってやるのもよいが、次から次へと際限がなくなります。上級生になるとリモコンの自動車、中学校に進むと無線で飛ばす飛行機、高校になるとオートバイ……「買ってくれたら勉強する」と言いますが、勉強はしません。はてがありません。どこかでできなくなりません。するとあばれる。こうなれば手遅れです。自分で自分にブレーキをかけることを、幼い時にお母さんから教えてもらえなかったかわいそうな子どもです。さあ、今日はえらかったね。」

「ごほうびにこれをあげましょう」と言って風船を出すと、お母さんにふくらませてもらって喜んで帰る。

「四回目になると、「たまご、さかな」は言えるようになるが、「すずめ、バナナ」は「スズネ、バア

「お母さんは隣のいすです」と指示する。

「お母さんはここで」と泣く。

「それでは、今日はこれでおしまい。」と席を立つと、大声で泣く。なかなかやまらぬ。

「先生にさよならを言いなさい」

と母親に言われて泣きながら「さようなら」と言つて帰る。

十四回目、初めから一人で入つて、母親は別室、ドアを閉めて学習ができる。ボール遊びもルールを守つてよくできた。

それから極めて順調に進んだ。

「はじめてここに來られてから二カ月、回数にして二十回、知能もよいので、これから先は保育所の集団生活を通して社会性が身につけていくにつれて急速にのびていくと思えます。

相談所での学習はこれをもって

終ることにしましょう。」

「ほんとうにありがとうございます。さようなら」

一カ月おいて保育所をたずねてみた。小運動会らしく、運動場に並べられた自分の腰掛けにちゃんとなつて座っている。順番がくると出て走り、旗をおいて自分の列にもどる。規則正しく、三歳児とは思えない。もう保育所の優等生になっているらしい。

「子どもが泣くのは、決してはずかしいことではありません。それに、そう長い間ではありません。お母さんがだめと言ったらだめ」と、はっきりさせておかないと、大きくなって小学校に行く頃になると、「プラモデルがほしい」と言います。買ってやるのもよいが、次から次へと際限がなくなります。上級生になるとリモコンの自動車、中学校に進むと無線で飛ばす飛行機、高校になるとオートバイ……「買ってくれたら勉強する」と言いますが、勉強はしません。はてがありません。どこかでできなくなりません。するとあばれる。こうなれば手遅れです。自分で自分にブレーキをかけることを、幼い時にお母さんから教えてもらえなかったかわいそうな子どもです。さあ、今日はえらかったね。」

「ごほうびにこれをあげましょう」と言って風船を出すと、お母さんにふくらませてもらって喜んで帰る。

「四回目になると、「たまご、さかな」は言えるようになるが、「すずめ、バナナ」は「スズネ、バア

土長ブロックの婦人が集い研修会

南国市をはじめ、大豊町、本山町などの一市三町四村の婦人が一同に集う「土長ブロック婦人研修会」

今年南国市で開かれるとあって、市内の十三地区婦人会から約五十名、市外からも約四十名が参加し、盛大なものになりました。研修会に先立ち、南国市連合婦人会の西森律会長から「多勢の参加で開催できることをみんなで喜びたいと思います。家庭をあくか私たちが主婦は常に勉強を深めて、省エネ、物価高のこの時代を乗り切ろうではありませんか」とあいさつ。県立消費生活センターの水田直子さんによる「食品添加物を考える」と題する講演や、地元南国市の婦人会活動の体験発表など、長時間にわたるスケジュールをこなした。婦人の意気盛んなところを見せました。



「子どもが泣くのは、決してはずかしいことではありません。それに、そう長い間ではありません。お母さんがだめと言ったらだめ」と、はっきりさせておかないと、大きくなって小学校に行く頃になると、「プラモデルがほしい」と言います。買ってやるのもよいが、次から次へと際限がなくなります。上級生になるとリモコンの自動車、中学校に進むと無線で飛ばす飛行機、高校になるとオートバイ……「買ってくれたら勉強する」と言いますが、勉強はしません。はてがありません。どこかでできなくなりません。するとあばれる。こうなれば手遅れです。自分で自分にブレーキをかけることを、幼い時にお母さんから教えてもらえなかったかわいそうな子どもです。さあ、今日はえらかったね。」

「ごほうびにこれをあげましょう」と言って風船を出すと、お母さんにふくらませてもらって喜んで帰る。

「四回目になると、「たまご、さかな」は言えるようになるが、「すずめ、バナナ」は「スズネ、バア

連絡員さん ありがとう

市内319名の連絡員さん、今年一年どうも「苦勞」をありがとうございました。来年も、またよろしくお願ひします。

連絡員や部数が変わるときは、管理課庶務文書係(内線422)へ連絡ください。

よびかけ欄

第二回松木杯 争奪卓球大会

- ◎とき：1月11日(日) 午前9時から
- ◎ところ：市民体育館
- ◎種目：男女とも団体・個人戦
- ◎参加料：団体1400円 個人1100円
- ◎参加資格：学生百円
- ◎参加希望者は当日午前8時30分までに市民体育館へおいでください。会場で受付を行います。
- ◇大会についてのおたずねは市民体育館 ☎3498まで

市農業共済組合 職員募集

- 試験の区分と採用人員：男子2名(うち一般事務員1名、農業改良普及員の園芸専攻有資格)

よびかけ欄

第二回松木杯 争奪卓球大会

- ◎とき：1月11日(日) 午前9時から
- ◎ところ：市民体育館
- ◎種目：男女とも団体・個人戦
- ◎参加料：団体1400円 個人1100円
- ◎参加資格：学生百円
- ◎参加希望者は当日午前8時30分までに市民体育館へおいでください。会場で受付を行います。
- ◇大会についてのおたずねは市民体育館 ☎3498まで

市農業共済組合 職員募集

- 試験の区分と採用人員：男子2名(うち一般事務員1名、農業改良普及員の園芸専攻有資格)